公益充実資金の明細（令和7年度報告）

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	不動産情報交換事業対策積立預金Ⅱ
当該活動の内容	レインズシステムの利便性の向上、ニーズに合わせた改修を目的とする。また、令和12年度を目標にアプリケーションの改修にかかる費用の負担金を積み立てる。
計画期間（目的設定～実施）	西暦 2021 年 4 月 ～ 2030 年 3 月 月数（ 107 月）
所要額の算定方法	当機構では、特定費用準備資産等取扱規程により、共同利用している東日本レインズの改修費用についても応分の費用負担をすべき旨を令和3年3月9日の理事会で承認を受け、現行システムについては耐用年数5年のハード機器の定期的な入れ替えと、次期システム更改にあたりシステム開発を担当するベンダーの変更及びOS等の基本ソフトのバージョンアップ等を想定し、システムを新しく一から再構築をすることを前提に改修費用を算定した。（算定根拠：改修費用10億円のうち、当機構の負担割合が最大でも4%までと見込んで算定し、上限値を4,000万円とした。） ※東日本レインズのこれまでの経緯として、平成10年度に全面的な改修によりIP型の稼働が始まり、平成17年度にハード機器の増強、平成20年度にベンダーを変更しハード機器とアプリケーションの全面的な更改（7．5億円）を実施、令和元年度にハード機器の更改（約1億円）、令和2年度にアプリケーションの全面的な更改（約7．5億円）を実施。 その後、令和5年12月11日の理事会において、基盤入換について次回よりクラウドサービスを導入することに伴い、令和6年度の取崩額を400万円から600万円に、令和11年の取崩額を400万円から200万円に変更することを承認した。 令和7年12月8日の理事会において、特定費用準備資金取扱規程を廃止し、公益充実資金取扱規程を制定し、この不動産情報交換事業積立預金Ⅱを公益充実資金として取り扱うこととした。

1．公益充実資金の前年度末明細

前年度末				
各資金の明細		実施時期（年度）※西暦	所要額	残高
不動産情報交換事業対策積立預金Ⅱ	費用	2030	32,000,000 円	16,000,000 円

2．公益充実資金の本年度末明細

当該事業年度開始日(西暦)	2025/4/1

本年度末						
前期末残高		取崩額（合計値）	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高	積立限度額
16,000,000 円		円	0 円	3,000,000 円	19,000,000 円	32,000,000 円
各資金の明細		実施時期（年度）※西暦	所要額	取崩額（個別）	備考	
不動産情報交換事業対策積立預金Ⅱ	費用	2030	32,000,000 円	0 円		

3．公益充実資金の積立内訳、積立基準額の算定値（中期的収支均衡の50%超繰入れ時用）

中期的収支均衡の観点で、50%を超えて繰入れをする際に使用する公益充実資金の各種算定値を確認します。

各資金の明細		期首積立内訳（算定値）	残り必要額（算定値）	支出までの残存期間	活動毎積立基準額（算定値）	積立基準額（算定値）
不動産情報交換事業対策積立預金Ⅱ	費用	円	32,000,000 円	59 月	6,508,475 円	6,508,475 円

4．公益充実資金と公益目的事業費率、使途不特定財産上限との関連値

公益目的事業費率及び使途不特定財産上限との関係で、公益充実資金における必要な値を確認します。

各資金の明細		積立内訳（算定値、公益実施費用額に算入）	取崩内訳（公益実施費用額から控除）
不動産情報交換事業対策積立預金Ⅱ	費用	3,000,000 円	
		円	
		円	
合計		3,000,000 円	0 円